

# Qu'est-ce que Pâques?



イエス・キリストの復活を祝う「復活祭」は、「春分後の最初の満月のあとの日曜日」(移動祝祭日)。復活祭前の一週間を「聖週間」といいます。

枝の日曜日:キリストのエルサレム入城を記憶する日。信者は棕櫚の葉の枝を振って歓迎した。  
月曜日から水曜日は行事はない。

聖木曜日:「最後の晩餐」を記憶する日。その席で弟子たちの足を洗ったため「洗足の木曜日」という。

聖金曜日:キリストの受難と死を記憶する日。「受難日」、「受苦日」、「聖大金曜日」ともいわれる。

聖土曜日:キリストの受難をしのび、キリストの遺骸が墓に休息したとを記憶する日。

「聖なる安息日」ともいわれ、祭壇の飾りを取り除き、ミサも行わない。

復活祭:キリストが死から三日目に復活したことを記憶する日。

フランスでは、聖木曜日から復活祭までの3日間、教会の鐘が鳴りません。

「どうして鐘が鳴らないの?」という子どもの問い掛けに

「鐘はローマ(ヴァチカン)に行って卵をもらってきて、帰りにお庭にまくのよ」。

お母さんはばれないように卵を庭に埋めておきます。

庭から掘り出して、カゴいっぱいの卵チョコにご満悦の子どもたち。

なんとも楽しいお祭りですね!

Joyeuses  
Pâques!

Chocolatier **La Pierre Blanche**